

健康寿命日本一を達成するとともに、高齢者や障害者を含む誰もが健やかに暮らせる地域づくりを進めます。



だれもが、いつでも、どこでも、 スポーツに親しめる環境づくり

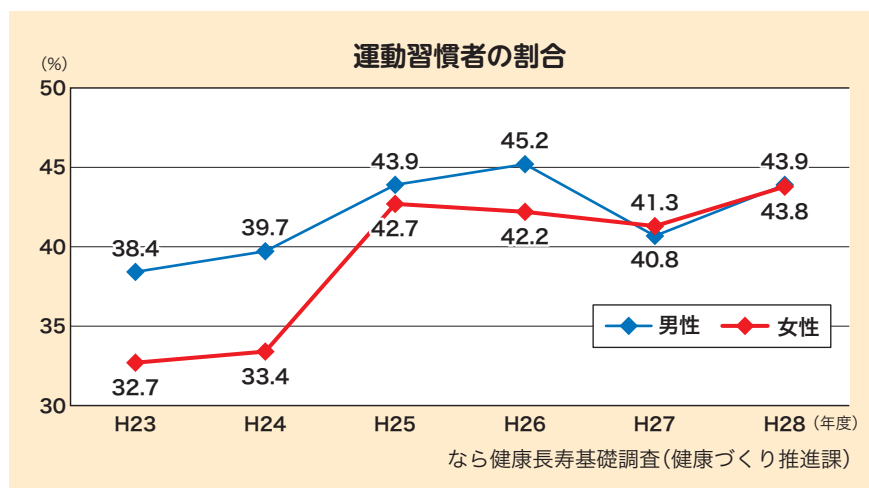
主担当部局：くらし創造部



奈良マラソン 2017

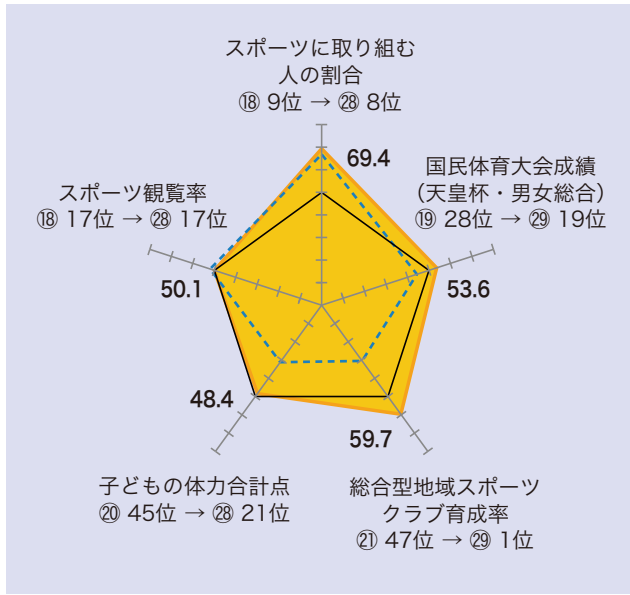
目指す姿

平成34(2022)年度までに、**運動習慣者(1日合計30分以上の運動・スポーツを週2日以上実施している人)の割合を50%以上に増やします。**

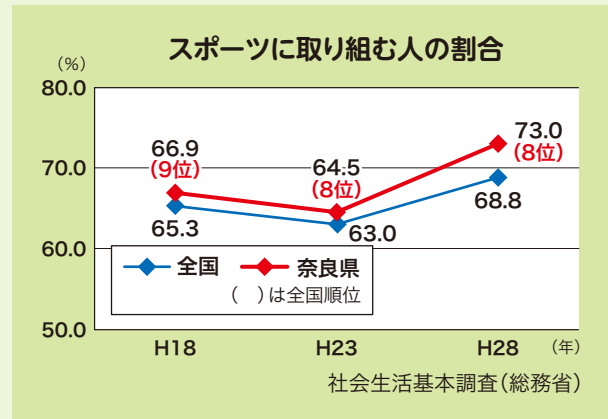


目指す姿を達成するための取組状況

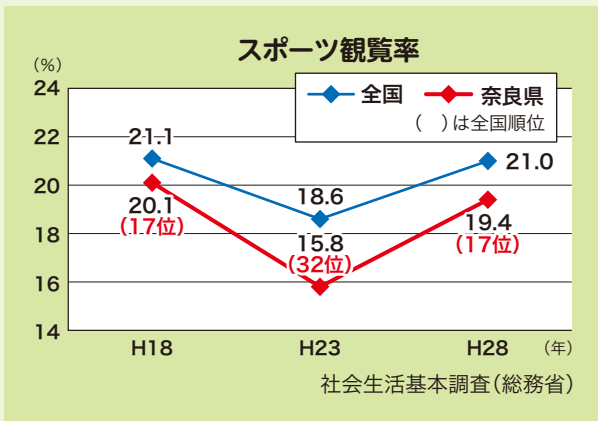
● 現状



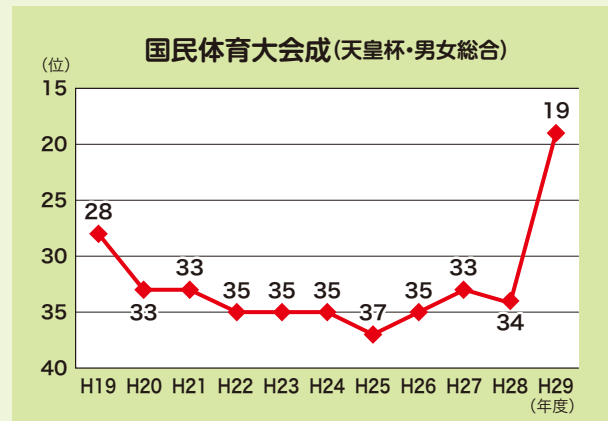
● トレンド



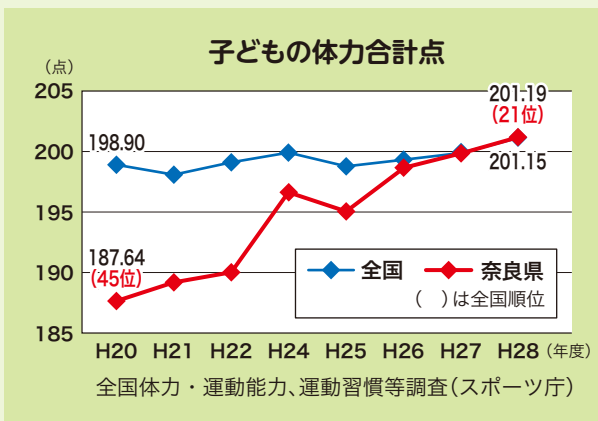
スポーツに取り組む人の割合は、平成18年と比較して6.1ポイント上昇しており、全国平均を上回っています。



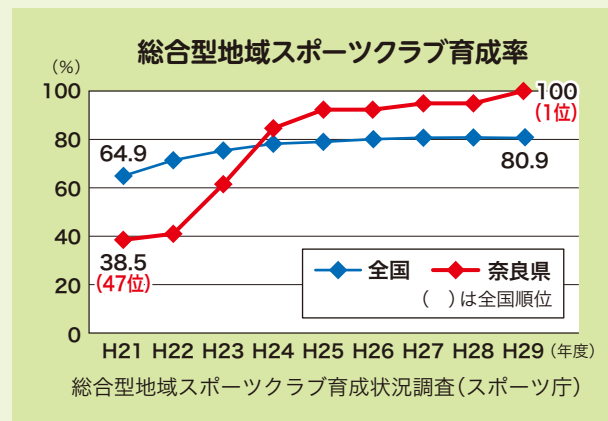
スポーツ観覧率は、平成28年の全国順位は17位ですが、全国平均よりも低い率で推移しています。



競技力向上の取組により、平成29年度の国民体育大会(天皇杯・男女総合)の成績は、30年ぶりに10位台となりました。



子どもの体力合計点は、年々上昇しており、全国平均に近接しています。



総合型地域スポーツクラブ育成率は、運営の支援等を行ってきた結果、全市町村でクラブが設立され、平成29年度に100%を達成しました。

だれもが、いつでも、どこでも、スポーツに親しめる環境づくり



戦略 1

ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツの推進を図ります。

担当課：くらし創造部 スポーツ振興課

戦略目標

スポーツイベント(総合型地域スポーツクラブ
交流大会)の参加者数

1,149人
平成24(2012)年度

目標
→

10,000人
平成34(2022)年度

1日に1時間以上運動・スポーツをする
小学5年生・中学2年生の割合

小学5年生41.0%
中学2年生69.7%
平成28(2016)年度

目標
→

小学5年生55%以上
中学2年生75%以上
平成34(2022)年度

プロスポーツ等の試合数

5試合
平成24(2012)年度

目標
→

60試合
平成34(2022)年度

檀原公苑年間利用者数

301,330人
平成24(2012)年度

目標
→

330,000人
平成34(2022)年度

主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツの推進	総合型地域スポーツクラブ活動の質の充実に対する支援		
子どもを健やかに育むスポーツの推進	幼稚園等への幼児向け運動プログラムの普及に向けた取組の実施		
	学校部活動への外部指導者派遣、部活動指導員の配置		
トップアスリート等との連携によるスポーツの推進	交流イベントやスポーツ教室の実施		
スポーツ施設の整備・活用	中長期的なスポーツ施設整備ビジョンの策定	● ビジョン策定	● 計画的な施設整備
	● ビジョン策定	● 計画的な施設整備	● 計画的な施設整備



トップアスリートとの交流(檀原公苑陸上競技場)



幼児期運動プログラムの実践(近畿大学附属幼稚園)

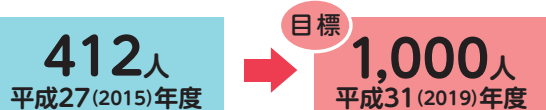
戦略 2

参加型スポーツイベントの開催やスポーツツーリズムの展開により、地域への誘客を促進するなど、**スポーツを通じた地域振興**を図ります。

主担当課：くらし創造部 スポーツ振興課

戦略目標

奈良マラソンへの海外からのエントリー数



スポーツ合宿でスイムピア奈良を利用する人数



国際大会の事前キャンプ地招致件数
(ラグビーワールドカップ(2019年)、
東京オリンピック・パラリンピック(2020年))



主な取組

項目	平成30年度 (2018)	平成31年度 (2019)	平成32年度 (2020)
参加型スポーツイベントの実施	奈良マラソン、リレーマラソン大会等の実施 <small>●奈良マラソン2019(第10回記念大会)</small>		
スポーツツーリズムの推進	サイクルスポーツイベント・ アウトドアチャレンジレース等の開催支援		
東京オリンピック・パラリンピック等を契機としたスポーツによる国際交流の促進	ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・ パラリンピックキャンプ地招致及び国際交流の促進		



香港代表水泳チームとの交流(知事室)



ツアー・オブ・奈良・まほろば(宇陀市他5市村)